



『協力と思いやりの寿都中学校』

《学校の取組》

【知識・技能の習得】

- 導入とまとめに振り返りを設定する
- 既知を活かして未知に向かわせる
- 学習規律を徹底する

- ・アンケートで「授業が良く分かる」80%
- ・通知表の「関心意欲態度」B以上 100%

【思考力・判断力・表現力の育成】

- 自力解決と話し合い活動を設定する
- 「わかった」「できた」「説明できる」授業に改善する

- ・アンケートで「話し合いで考えを深めたり広げたりしている」80%

【学びに向かう力と人間性の育成】

- 生徒指導の三機能（自己決定・自己存在感・共感的人間関係）を活かす
- 生徒会と連携したあたたかい学校をつくる

- ・アンケートで「学校が楽しい」100%
- ・アンケートで「いじめはダメ」100%



寿都町

《家庭の取組》

- 早寝早起き朝ごはんの徹底
- 家読の推進
- コミュニケーションの充実
- 学校における働き方改革への理解

《地域の取組》

- 学校運営協議会のスマホルールの周知
- 防災に関する SOS ステーションとの連携
- 学校支援活動の推進

取組の重点10

(1) 教育課程

- ①教育活動の質の向上
- ②地域人材や資源を活用した体験活動
- ③小・高との連携

(2) 学習指導

- ①TT・習熟度別学習による個に応じた指導
- ②「話し合い活動」を位置付けた授業づくり
- ③考えることが楽しい授業づくり

(3) 生徒指導

- ①「からかい・いじり」不要「いじめ」撲滅の指導の徹底
- ②失敗を乗り越えた成功体験の承認による自己肯定感の育成
- ③細かな情報交換

(4) 健康安全指導

- ①運動の特性に応じた準備運動
- ②健康や安全意識を高める指導

(5) 環境整備

- ①整理整頓
- ②活動の様子や成果が見える掲示活動
- ③生徒会と連携した「あたたかな心」の見える化

(6) 道徳教育

- ①「考え議論する道徳」の実践
- ②生徒の心を揺さぶる日常からの指導
- ③生徒同士の共感的理解

(7) 進路指導

- ①自立と共生を考えさせるキャリア教育
- ②第1学年から保護者を含めた積極的な情報提供

(8) 校内研修

- ①教育のプロとしての専門性を高める研修

(9) 家庭・地域との連携

- ①コミュニティ・スクール活動の充実
- ②「足で稼ぐ」ことを基本とした保護者や地域への対応

(10) その他

- ①来校者や電話での、「爽やか・明るい・温かい・丁寧な」対応
- ②仕事への厳しさとやりがい・和やかさの調和がとれた職員室風土
- ③心身の健康面に留意した業務推進

令和2年度 学校経営方針

1 学校経営理念

本校は、昭和54年に、旧寿都・樽岸・湯別・歌棄・磯谷の5中学校を統合し、近代設備を誇る新校舎を建築して開校した。地域の人たちの新しい時代への夢と希望を託された学び舎は、多くの人たちにより社会に有意な人材を育て、コミュニティとして地域の要となってきた。

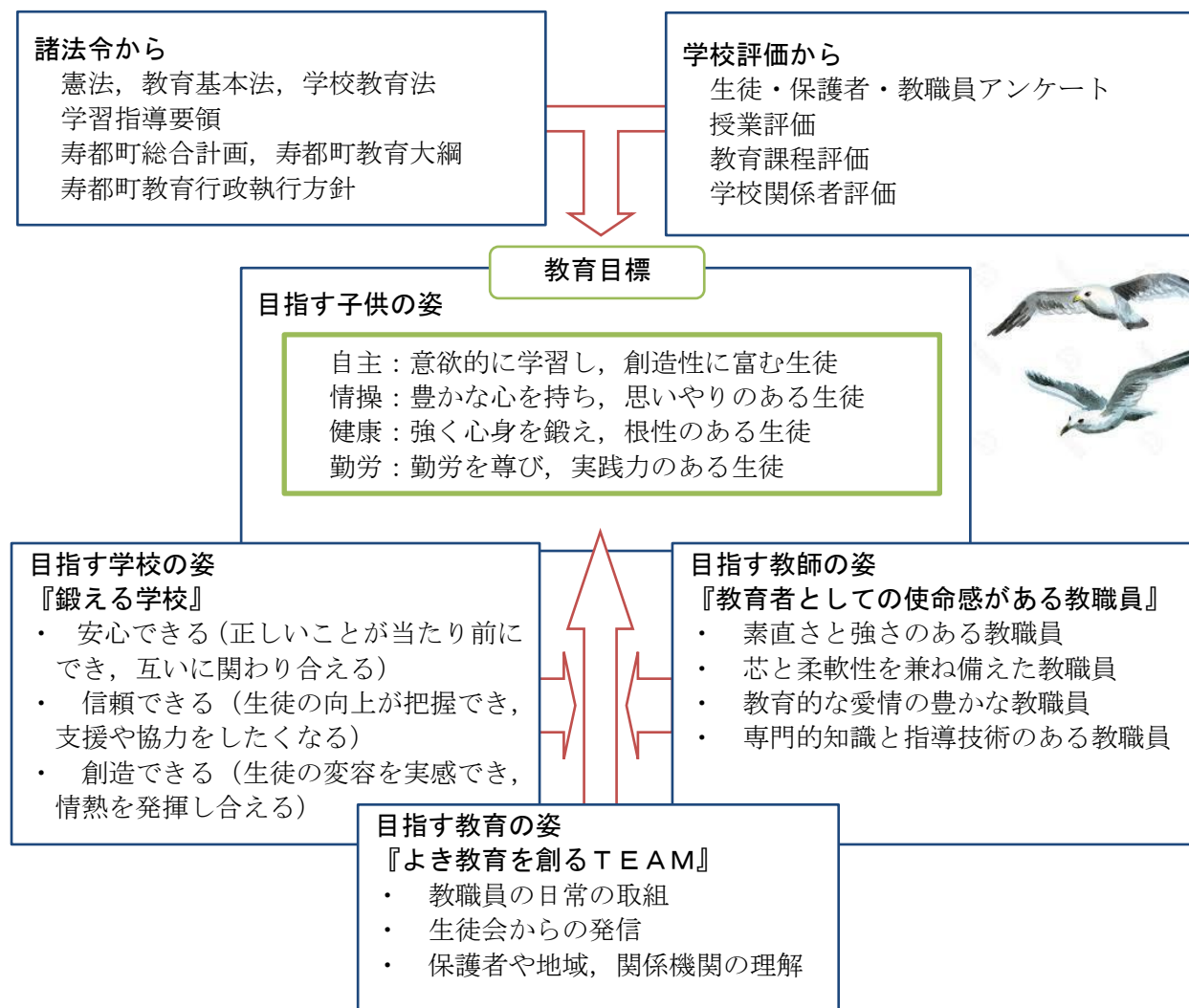
私たちは、本校の歴史と伝統を築いてきた教職員の一人として、この学校を支え育んできた保護者・地域の皆様の期待に応えるために、これまでの実践や評価などを踏まえ、諸法令の下、人づくりに努めていく。そして、生徒・保護者・地域・教職員の誰もが「寿都中学校でよかった」と思える学校づくりを進めたい。

開校42周年となる本校が、生徒にとって希望と期待にあふれ「正しいことが当たり前ででき、関わり合える学校」、保護者・地域にとって「生徒の向上が把握でき、支援や協力をしたくなる学校」、教職員にとって「生徒の変容を実感でき、情熱を發揮できる学校」でありたい。

生徒にとって	安心できる学校
保護者・地域にとって	信頼できる学校
教職員にとって	創造できる学校

2 学校の教育目標（長期目標）

学校教育目標に示された「知」「徳」「体」の調和のとれた子供の姿をめざし教育活動を展開し、人づくりに努めていく。



3 各学年の目標

学校教育目標の実現に向けて、教職員が目指す子供の具体的な姿を共有し、発達段階に応じた指導を積み重ねていく。そのために学校教育目標の内容を系統的にし、各学年の目標を以下とする。

	段階	ねらい	確かな学力の育成	豊かな心の育成	健やかな体の育成
中一	自分のよさに気付く	学習活動などの中で、自分の適性や興味・関心などに気付いたり、確かめたりしながら、自分のよさに気付くよう育む。	学習規律や学ぶ姿勢を育むとともに、具体物での学習や体験することを通して基礎的・基本的な知識や技能の習得を図る。	集団や社会のルールを守る態度など、善悪の判断や規範意識の基礎の形成を図る。	運動を楽しく行う中で、基本的な動きを広げることができるよう育成する。
中一・中二	自ら学ぶ力をつける	既知を用いて問題解決を図り、基本的な原理・原則を繰り返し学ぶことで、自分の良さや適性を自覚するよう育む。	学習規律や基礎的・基本的な知識や技能を繰り返し指導し、定着を図るとともに、思考力・判断力を育成する。	自主性を尊重しつつ、学校生活を通して集団の規則を理解させ、自他を尊重する意識や他者への思いやりの心などを育てる。	運動を楽しく行う中で、基本的な動きを高めることができるよう育成する。
全学年	主体的に学ぶ	活動に主体的に取り組むことを基盤に、自分で考え、適切に選択して学びが広がり豊かになるよう育む。	既有的知識や経験を活用して、主体的に問題を解決し、論理的、抽象的な思考力などの育成を図る。	自己肯定感を育成するとともに、集団における役割の自覚や責任感を育み、実社会への興味・関心を持たせる。	各種の運動を楽しく行う中で、体力を高める運動の行い方を知り実践できるようにする。
全学年	学びの意義を考える	明確な目標を持ち、自分に合った学び方で、志をもって学習やその他の活動において学びを深める態度を育む。	身に付けたことを発展させ、自ら課題を見つけ、自分に合った学び方で主体的に解決し、学習内容の深化と個性の伸長を図る。	生き方について主体的に考え、他者と協力して、自立した生活を営む力を育て、法やきまりの意義の理解や公德心を育成する。	各種の運動の楽しさや喜びを味わい、体力を高める運動の計画を立て実践できるように育成する。

4 中期目標（令和元年度、2年度、3年度の3か年）

学校教育目標を受けた3か年の中期目標を以下とする。

- 確かな学力を育てる教育活動の推進 《わかる、できる、表現できる生徒の育成》
- 豊かな心を育む教育活動の推進 《認める、関わる、協力する生徒の育成》
- 健やかな体を育む教育活動の推進 《心身ともに健康な生徒の育成》
- 地域に開かれた信頼される学校づくり 《学校・家庭・地域の連携》

5 学校の現状

生徒の状況、学校評価、学校評議員会から、学校の現状は次の通りである。



- 全国学力調査の結果は、数学が全国平均を上回る。
- 全国学習状況調査の結果は、基本的な生活習慣が身についている。規範意識も高い。
- 新体力テストの調査結果は、各種目合計で全国平均を下回っているが、差は縮まっている。
- 学校評価アンケートの結果は、全般的に高い評価となっている。学力向上が期待されている。

6 短期目標（年度の重点目標）

中期目標を受け、学校の現状、地域のニーズから単年度の重点目標を設定し、教育活動を推進する。

協力と思いやりの寿都中学校

7 目標とする指標（評価指標）

目標項目・評価項目		目標指標（評価指標）
確かな学力の育成	(1) 基礎・基本	①授業の「めあて・まとめ」を明示し、「振り返り」を設定する。
		②「話し合い活動」を設定する。
		③「わかった」「できた」「説明できる」のある授業づくり行う。
		④月2冊以上の読書により読書習慣を身に付けさせる。
		⑤各種資格検定試験にチャレンジさせる。
	(2) 学習意欲・学習習慣	①社会とのつながりの中で学ぶ機会を重視して実施する。
		②放課後学習や長期休業の学習日等により、学習事項の再確認を行う。
		③チャイムで授業を開始し、学習規律を徹底し、学習環境を整備する。
		④目標から「覚えること」と「考えること」の取組を意識させる。
⑤既知を活かして未知に取り組む意欲を高める。		
(3) 支援教育	①すべての生徒を対象にしたユニバーサルデザインに取り組む。	
	②関係機関と連携し、支援教育の充実を図る。	
	③「指導計画」「教育支援計画」を活用し、長期的な視点に立った支援を行う。	
豊かな心の育成	(1) 道徳性	①各教科や領域との関連の中で、教育活動全体を通じて道徳性を育成する。
		②研修を充実し、「議論する道徳」を実践する。
		③思いやりのある集団づくりで人権教育の充実を図る。
	(2) 生徒指導	①各種アンケート、ハイパーQ U、教育相談を実施し、生徒理解を図る。
		②礼節ある生徒を育成する。
		③時間を守り、整理整頓を大切にする意識を高める。
		④生徒指導の三機能を大切にする。
	(3) 進路指導	①保護者や地域の方と連携し情報を共有して、キャリア教育を推進する。
		②夢や希望を大切にし、実現に向けて努力する意欲を持たせる。
③一年生から段階的な進路指導を充実し、自己実現を意識させる。		
健やかな体の育成	(1) 体力	①新体力テストを実施し、分析結果を準備運動等での指導に生かす。
		②体育授業や部活動の充実により、体力づくりを意識させる。
		③記録の伸びを意識させ、運動の大切さ・楽しさを実感させる。
	(2) 健康教育	①早寝、早起き、朝ごはん運動の推進を図る。
		②保健体育科・家庭科や各教科のつながりを意識し、食育指導の充実を図る。
	(3) 安全教育	①避難訓練を実施し、日頃からの安全教育を推進する。
		②SOSステーションや「防災マニュアル」の活用を図る。
		③SNSについて保護者とともに安全な活用を啓発する。
	信頼される学校づくり	(1) 指導力
②生徒の姿で確かめ合う達成感のある職場環境づくりを推進する。		
③各研修会に参加し、自分の工夫を加えて実践に生かす。		
④学んだことを教職員に還元し、学び合う場を設定する。		
(2) 保護者・地域		①各種便りやホームページ等により情報を発信する。
		②足を運んで保護者や地域、関係機関との情報共有を図る。
		③小学校・高等学校との連携・交流を図る。
		④コミュニティ・スクール活動の充実を図る。
(3) 学校運営		①月ごとの学校運営計画に基づき、各部内・各部間の連絡調整を図る。
		②諸表簿や事務文書を整理し、定期的に点検し情報の安全を確保する。
		③データ管理の意識を高め、個人情報の保護を徹底する。
		④アクションプランを意識した協働とTEAM意識の充実を図る。

